

研究助成事業

家庭動物の適正飼養管理に関する調査研究助成【応募期限 2024年8月31日】

※今年度の応募受付は終了いたしました。

公益社団法人日本愛玩動物協会では、科学的知見を踏まえた各種普及啓発活動を実施するための基盤整備を図ることを目的とし、大学・研究所等に対して、助成事業を行っています。

1. 助成対象となる調査研究

家庭動物（犬、猫、小鳥、小動物などで広く一般的に飼われているもの）の適正飼養管理に関する調査または研究に限ります。

※家庭動物の適正飼養管理に、直接的・将来的に結びつくものであることが助成の条件となります。

※営利目的、他の機関からの委託研究や研究助成の重複、実質的に完了している研究は除きます。

本調査研究助成は、学術機関等からの助成を受けにくい状況にある「家庭動物の適正な飼養管理に関する調査研究」を推進し、そこで得られた知見を「一般的な飼い主に対して普及啓発すること」を目的として実施しているものであります。本事業に対しては、過去に多数のご応募を頂いておりますが、採用を見送らせて頂きましたものについては、非常に高度で専門的な内容で一般の飼い主への普及啓発とは乖離しすぎていると思われるもの、営利事業に関係する内容のもの、外来種等の飼養管理の容認に結び付くおそれのあるもの、技術面・人的能力等から見て実効性・実現性に疑問がある応募につきましては、本調査研究助成の趣旨から外れるものとして判断させて頂きました。また、人文系の分野に関する内容の応募が以前に比べ少なくなってきておりますので、生命科学の分野に限らず、幅広い分野からの応募をお待ちしております。

調査研究分野

- (1) 動物の健康と安全、習性、生理生態
- (2) マナー、しつけ
- (3) 公衆衛生（迷惑防止を含む）
- (4) 所有者明示
- (5) 繁殖、繁殖制限
- (6) 動物観、歴史
- (7) 法令
- (8) その他

2. 応募者の資格

資格、所属、年齢等の制限はありませんが、上記調査研究分野で調査研究歴を有する者としてします。申請書に下記事項を記載してください。

- ・最終学歴
- ・関連する研究歴
- ・既発表論文（掲載誌名、論文名）
- ・共同研究者名
- ・所属学会名等

総額約400万円

- (1) 1件100万円以下数件、
- (2) 1件30～50万円程度数件

※応募者の中から、審査の上、それぞれの助成額を決定します。

※間接経費（所属研究機関への経費）がある場合は、申請書に明記ください。

4. 助成期間

1年間（2025年4月～2026年3月）

※単年度で成果報告ができる調査研究を対象とします。

5. 応募期間

今年度の応募受付は終了いたしました。

6. 審査基準

次の事項を総合的に勘案して審査します。

- (1)本協会の公益目的事業との適合性
- (2)適正飼養管理への応用の可能性
- (3)学術的価値
- (4)調査研究の遂行能力

7. 助成対象者の決定

本協会の審査基準に基づき、選考委員会で審査選考の上、本協会理事会にて決定します。

8. 選考結果

選考結果は2025年2月中旬に文書で各申請者に通知します。

※採否の理由についてのご照会には回答いたしかねます。

※本協会は申請者から知り得た情報等は、口外いたしません。

9. 調査研究成果の報告等

助成決定者は、2026年4月初旬までに調査研究の成果報告書及び会計に関する報告を提出していただきます。当該報告書は本協会の機関誌、ホームページ等で公開する予定です。

学会等の講演、雑誌等発表する場合、本協会の調査研究助成金を使用したことを明記していただきます。

10. 応募の方法

今年度の応募受付は終了いたしました。